

北海道地域観光学会 学会誌 投稿規程

1 発行

北海道地域観光学会では、年 2 回学会公式ホームページ上に会員の投稿論文を掲載した学会誌を発行します（4 月末、10 月末）。本学会は、学术论文のほか、広く北海道観光に関する情報交換の場として、行政論文、ビジネス論文、市民学生論文を募集し掲載します。

2 投稿の種類

投稿は、会員のみ可能です。共著の場合は、代表者、共著者ともに会員である必要があります（入会はどこでもできます。入会案内をご覧ください）。論文は 4 つのジャンルで募集します。会員は、いずれのジャンルにも投稿できます。

a. 学术论文（査読付き学术论文、調査・報告学术论文）

北海道観光を中心に幅広く観光に関わる内容を持つ学术论文です。このジャンルでは、投稿者は、査読審査付き論文か査読のない調査・報告論文とするかを選択できます。

b. 行政論文

各省庁、自治体などの行政機関が取り組む、北海道の観光事業や観光関連の事業、計画などにおける、独自のアイデアや創意工夫などを報告する論文です。

c. ビジネス論文

観光事業者をはじめとする企業や団体が、北海道の観光事業や観光関連の事業、企画などにおける、独自のアイデアや創意工夫などを報告する論文です。

d. 市民学生論文

上記以外に北海道内外の市民として、あるいは学生として、広い分野からの北海道の観光に関連した活動や取り組み、提案などを報告する論文です。

3 原稿の書式 原稿は、以下の書式にしたがって作成してください。（書式サンプルも参考にしてください。）

- ・ 執筆は、邦文、英文を原則とする。英文の場合も、要約は邦文とする。
- ・ 余白は上下左右とも 25.0 ミリとする。

- ・ 特に指示がない場合、フォントは邦文 MS 明朝 10.5 ポイント（英文 Time New Roman 10.5 ポイント）、1 ページは 38 行、1 行は 43 文字を基準とする。
- ・ 1 ページ目には、表題を MS ゴシック 14 ポイント（必要に応じて副題を MS ゴシック 12 ポイント）で、また英文表題を Time New Roman 12 ポイントで記入する。
- ・ 執筆者の氏名は日本語とローマ字表記を併記する。タイトルと執筆者の下にはそれぞれ 1 行空ける。
- ・ 本文 1 行目の前にキーワードを 3 語まで表記する。以下、1 行空けて本文を記述する。
- ・ 学術論文には、要約を 5 行以内で記載する。
- ・ 【目的】など適宜見出しを付けることができる。
- ・ 図、表の番号・タイトルは、図は図の下、表は表の上に記載する。また原則、本文内に配置する。
- ・ 投稿原稿のページ数は、査読付きの学術論文は 10 ページ程度、その他の論文は 4～10 ページとする。

4 原稿の投稿

投稿は MS Word と PDF（Adobe Acrobat）にて提出してください。学会誌掲載が決定した原稿についても、あらためて、MS Word と PDF（Adobe Acrobat）の提出をお願いする場合があります。提出は、編集委員長へのメール添付で行ってください。なお、投稿は、通年で受け付けています。

- ・ メールの題目の最初に必ず「【論文投稿】」と記してください。
- ・ 本文には、どのジャンルに応募するのかを E メール本文に明記してください。
- ・ ファイルが大きくなり添付に不都合がある場合は、事務局にお訊ねください。）

編集委員長アドレス：h.itou@hokkai.ac.jp（北海商科大学教授 伊藤 寛幸）

5 審査

投稿された論文には以下の基準で審査が行われます。その審査を通過し、指示された修正等が行われた後に最終合格と判断されると学会誌に掲載されます。(可否を通知します。)

a. 学術論文

- ・ 査読付き論文に対しては、編集委員を含む 3 名の査読委員による査読審査を行う。
- ・ 審査の結果、訂正などを指示された場合は、指定された期日まで再提出をしなければならない。
- ・ 査読審査に適合しない場合は、調査・報告論文への変更も可能とする。
(その場合の締切りは、その他の論文に準ずる。)
- ・ 調査・報告論文の審査は、以下の他の論文の審査に準ずる。

b. その他の論文（調査・報告学術論文を含む）

- ・ 北海道観光およびそれに関連する内容を、独創性、貢献度、将来性などから編集委員が審査する。
- ・ 単なる広報や宣伝を目的とする内容は論文の対象としない。

6 表彰

編集委員会によって特に優秀と認められた論文は表彰する場合があります。